

まだまだ知られていない!

赤ちゃんにも フロスが 必須アイテム だということ



患者さんインタビュー 木下 侑未^{ゆみ}さん 主婦(東京都)

「数ヶ月前、娘に歯が生えてきたんです。それから、今この子にあった適切なケアってなんだろう?って考えるようになりました」
そう話してくれたのは1歳のお子さんを持つ木下侑未さん。
『赤すぐ』ママ活パーク^(※)で親子向けのグッペリ活動に参加し、歯についてのモヤモヤが解消したといいます。

Goodbye.
Perio Project

※ 赤すぐママ活パーク イベントレポート
2017年2月23日、親子向けのグッペリ活動が行なわれました。赤ちゃんとの生活をもっと楽しみたいママとパパを応援する雑誌『赤すぐ』とのコラボイベントで、妊婦さんから10ヶ月のお子さんを持つ方まで約50名の方が参加してくださいました!

いつから? がわからない

5月で娘がちょうど1歳になりました。私は自分の両親が近くに住んでいるし、近所に公共施設がそろっているのもあって、楽しみながら子育てしています。

娘にはやっぱりすこやかに育ててもらいたいので、最新の子育てに関する情報をなるべく集めるようにしています。ママ友と情報交換したり、イベントを利用することも。『赤すぐ』のイベントにも今まで何度か参加しました。絵本の選び方、離乳食、リトミック……。子どもと一緒に参加できるし、私の気分転換にもなるので楽しいです。ホームページをちょこちょこ見て、気になるものがないかチェックしています。今回も、ちょうど娘の歯が生えてきたタイミングでグッペリの活動を見つけたので参加しました。

歯に関しては、母親学級で少し勉強しました。「妊娠中から歯をキレイしておきましょう」「子どもとスプーンを共有したらダメですよ」って。教えていただいたことはとっぴりあえず気をつけています。ただ、やっぱり不安なこともありますね。いつ頃から歯医者さんに行けばいいのか。仕上げ磨きのやり方はこれで合っているのか。歯の生え方は個人差があるのか。「自分の子はいつから何をすればいいの?」って具体的な方法が気になっていたので。

赤ちゃんにフロスという
イメージがまだない

今回のイベントに参加して、そうした疑問が解決できました。気をつけて歯を磨かなければいけな

いのは奥歯が生えてくる2歳くらいから。それまでに歯磨きに慣れさせておくんですよ。具体的に知ることができて安心しました。あとよかったのが、フロスについて聞けたこと! 子どもでも歯周病に罹っている子は多いと聞いて驚いたし、そのためにフロスが必要ということも全然知らなかったので勉強になりました。

イベントのあと、知り合いのママに「歯について学べるイベントに行ったよ」と言ったら、いろいろ質問されたんですよ。「どんな歯ブラシ使えばいいの?」「フッ素ってどういうものなの?」って。でも、フロスってという言葉は出てこなかった。やっぱりまだフロスを赤ちゃんに使うって考えている人は少ないんだなあと思いました。だからこそ早いタイミングで知ることができてよかったです。

私自身は歯には苦労したので、子どもにはそういう辛い思いをさせたくない。そのときに必要な最善のケアをしてあげたいと思っています。完璧には難しいかもしれませんが、正しい情報を知っているだけでも違いますよね。娘の将来のためにも毎日の口腔ケアを頑張ります!



▼内容

グッペリメンバーが前に立ち、むし歯の話、歯周病の話、フロスの使い方などをお話します。「今は歯磨きに「慣れ」させる時期です!」「まずは大人のお口をキレイにすることが最優先ですよ」など、スライドを使って説明します。



さらに、フロスをお子さんに持たせてみたり、細菌を顕微鏡で確認したりする場面もありました。



▼反応

みなさん熱心に耳を傾けています。「フロスの使い方を教えてほしい」「歯周病菌がいたらどうケアすればいい?」など質問も多く、今までより歯に興味をもっていただけようでした!

